

名古屋で市民団体を中心に150名が参加！

**「リニア中央新幹線は必要か？」開催！**

**リニアにも原発にもNO！今こそ訴えよう！**

3月27日、名古屋市内において、シンポジウム「リニア中央新幹線は必要か？」が市民団体を中心とする実行委員会主催で開催されました。シンポジウムには市民団体、住民、マスコミなど150名が参加し、熱い討論が交わされました。

シンポジウムは、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で犠牲になられた方々へ黙祷を行い開会しました。この大地震により福島第1原発が重大事故を引き起こしたことを受け、電磁波環境研究所・荻野晃也所長から「東北地方太平洋沖地震・福島第1原発爆発！」と題した講演がありました。荻野所長は原発と地震の専門家でもあり、今回の原発事故のみならず、活断層、地震の空白域にある数多くある原発の危険性を訴えてこられました。原発は地震の対策はできても津波の対策はできていない。また発表されるデータも信憑性が薄い。テレビでは推進的な発言ばかりだ。私も影響のないことを期待するが、子供を守るために安全側に想像して対策するべきだ。原子炉を守るために放射能を出し続けるべきではない。私たちが知りたいのは真実だ。危険な原発はもう止めようではないか！と強く訴えました。

続いてシンポジウムでは慶応大学・川村晃生教授（リニア・市民ネット代表）がコーディネーターとなり、4名のパネリストがそれぞれ報告しました。千葉商科大学大学院・橋山禮治郎教授、電磁波環境研究所・荻野晃也所長、地質学者・伊那谷自然友の会・松島信幸常任委員、そしてJR東海労からは、高原順哉中央執行副委員長が労働組合の立場から、リニア中央新幹線の問題点を訴えました。今回のシンポジウムでは、リニア中央新幹線には様々な問題点が多くあることがあらためて明確になると同時に、原発が私たちの命と生活を脅かしていることがハッキリしました。今こそ広く国民に訴え、議論して行かなくてはなりません。

**東北地方太平洋沖地震・福島第1原発爆発！**

「原発はもう止めよう」電磁波環境研究所・荻野晃也所長から緊急講演！